

教材教具名	すうじのうた	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会の前など（小学部）
ねらい	・注目する力を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・音楽に合わせてたり、歌ったりしながら、イラストをめくって見せる。

<材料>

- ・画用紙 ・ラミネート

<工夫点>

<効果>

- ・注目できる時間が延びたり、数字に興味をもつ児童も増えたりした。

教材教具名	おはようくれよん	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会の前など（小学部）
ねらい	・注目する力を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・音楽に合わせてたり、歌ったりしながら、イラストを見せる。

<材料>

- ・画用紙 ・ラミネート

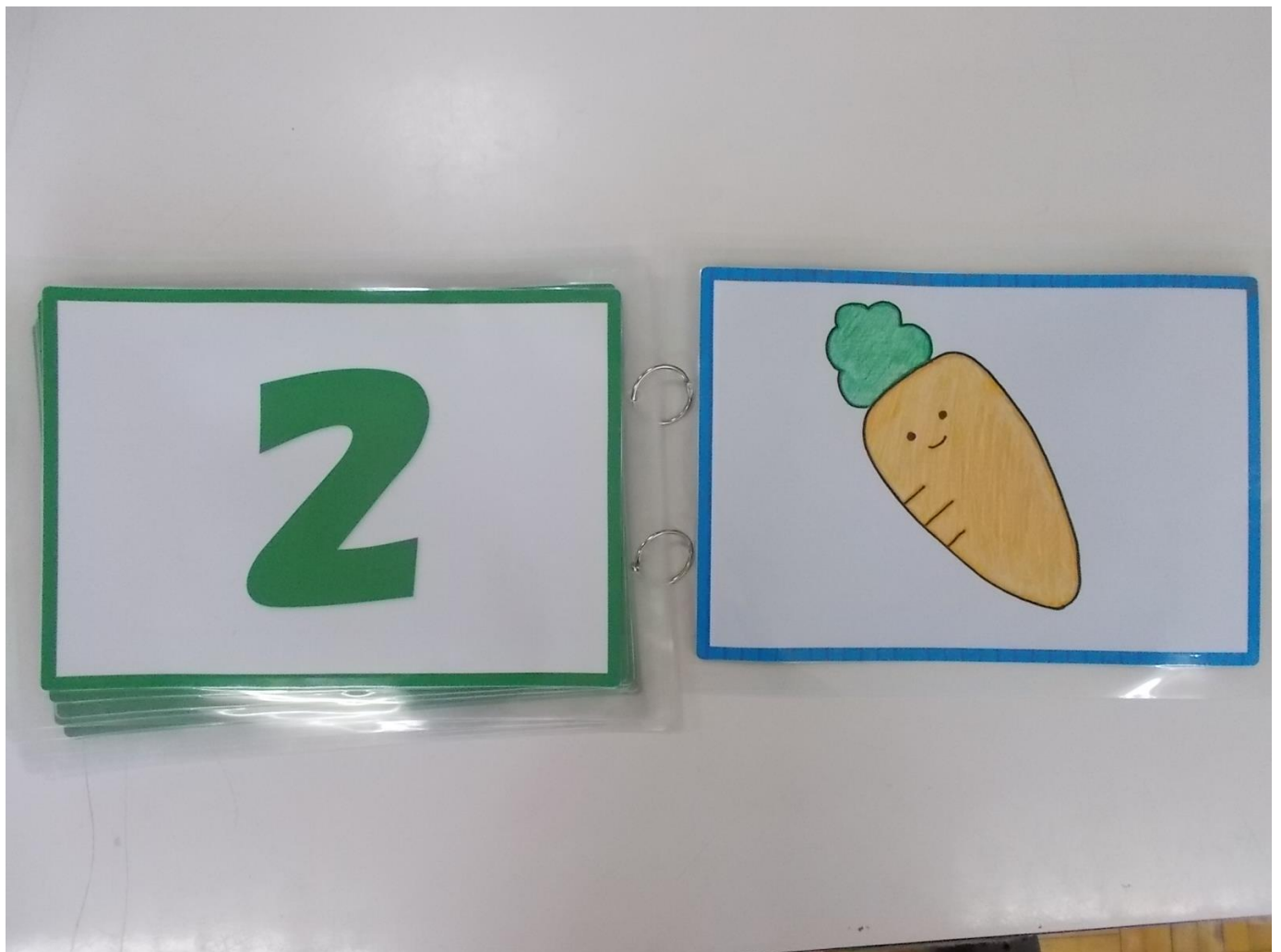
<工夫点>

<効果>

- ・注目できる時間が延びた。

教材教具名	いっぽんでもにんじん	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会の前など（小学部）
ねらい	・注目する力を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・音楽に合わせて、ページをめくっていく。

<材料>

- ・イラスト ・ラミネート

<工夫点>

- ・めくりやすいように、リングでまとめた。

<効果>

- ・注目できる時間が延びたり、数字に興味をもつ児童も増えたりした。

教材教員名	まあるいたまご	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会の前など（小学部）
ねらい	・注目する力を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・音楽に合わせてたり、歌ったりしながら、演じる。

<材料>

- ・厚紙 ・マジックテープ ・リング ・ラミネート

<工夫点>

- ・注目できるような仕掛けを作った。

<効果>

- ・注目できる時間が延びた。



教材教具名	くいしんぼうのありさん	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会の前など（小学部）
ねらい	・注目する力を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・音楽に合わせてたり、歌ったりしながら、イラストを見せる。

<材料>

- ・画用紙 ・ラミネート

<工夫点>

<効果>

- ・注目できる時間が延びた。

教材教員名	おべんとうバス	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会の前など（小学部）
ねらい	・注目する力を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・歌を歌いながら、パーツを動かし物語を演じる。

<材料>

- ・画用紙 ・ラミネート ・マジックテープ

<工夫点>

- ・マジックテープでお弁当のパーツを貼れるようにした。

<効果>

- ・注目できる時間が延びた。

教材教具名	くいしんぼうおばけ	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会の前など（小学部）
ねらい	・注目する力を高める。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・歌を歌いながら、パーツを動かし物語を演じる。

<材料>

- ・画用紙 ・ラミネート ・マグネット ・ひも ・プラ段

<工夫点>

- ・一つひとつのパーツをマグネットで付くようにしている。

<効果>

- ・注目できる時間が延びた。



教材教員名	あいうえおにぎり	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会（小学部）
ねらい	・前に出ている教員に注目することができる。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・朝の会や帰りの会を始める前に、教員に注目できるようにお楽しみとして行う。

<材料>

- ・イラスト、ラミネートフィルム、割ピン、マジックテープ。

<工夫点>

- ・曲に合わせて動かせるように、割ピンで固定している。

<効果>

- ・前に出ている教員に注目できるようになり、着席している時間が延びた。



教材教員名	さっと逃げました (手袋シアター)	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会 (小学部)
ねらい	・前に出ている教員に注目することができる。		

教材教員の概要 (使用方法・工夫点など)



<使用方法>

- ・朝の会や帰りの会を始める前に、教員に注目できるようにお楽しみとして行う。

<材料>

- ・カラー手袋、フェルト、グルーガン、裁縫道具。

<工夫点>

- ・オオカミは、手の形で顔が完成するようになっている。

<効果>

- ・前に出ている教員に注目できるようになり、着席している時間が延びた。

教材教員名	キャベツの中から	分類	教科
		授業名	朝の会、帰りの会（小学部）
ねらい	・前に出ている教員に注目することができる。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・朝の会や帰りの会を始める前に、教員に注目できるようにお楽しみとして行う。

<材料>

- ・イラスト、ラミネートフィルム、割ピン

<工夫点>

- ・曲に合わせて動かせるように、割ピンで固定している。

<効果>

前に出ている教員に注目できるようになり、着席している時間が延びた。

教材教員名	着替え手順書	分類	教科
		授業名	日常生活の指導（小学部）
ねらい	・手順書に沿って一人で着替えができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・着替え前に児童机にセットする。一つ終わるごとにカードを外す。

<材料>

- ・着替えカード、ゴム

<工夫点>

- ・机上は服をたたむ際に使用するため、幅を取らずに、付け外しが簡単なつくりにした。

<効果>

- ・自分で指さし確認をして着替えるようになった。



教材教員名	配膳グッズ	分類	教科
		授業名	給食前（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集中しておぼんに牛乳を置くことができる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・かごにつけてひもを首から下げる。かごに牛乳等を入れておぼんに配る。

<材料>

- ・カラビナ、ひも、タオル

<工夫点>

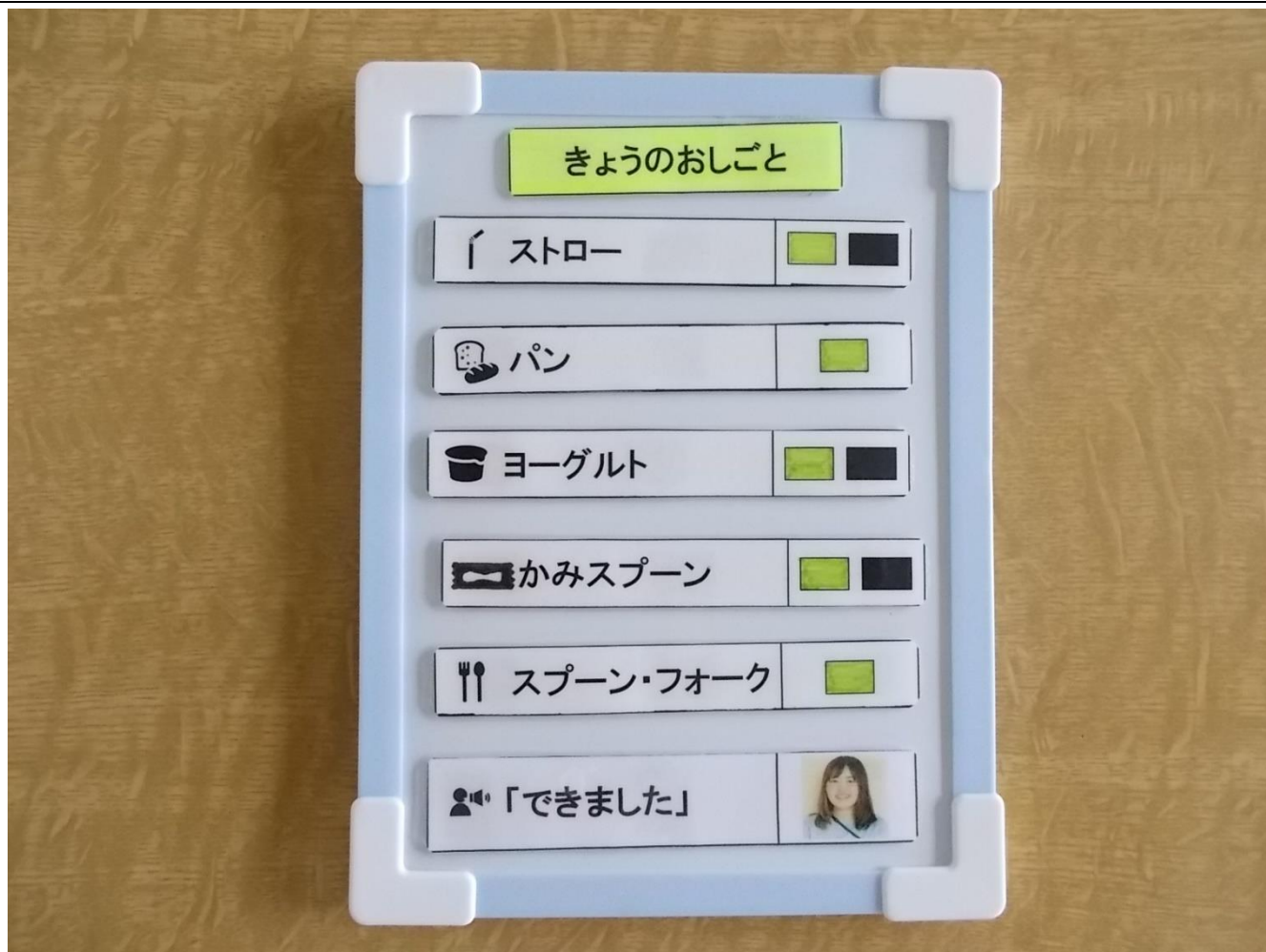
- ・売り子スタイルなので、両手があいた状態で配膳ができる。

<効果>

- ・たくさんの牛乳等を運びながら配れるようになり、効率・集中力アップ。

教材教員名	配膳ボード	分類	教科
		授業名	給食（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 色別のトレーに正しく配膳することができる。</li> <li>• 手順書に沿って配膳し、最後に報告することができる。</li> </ul>		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 給食メニューに合わせてカードを組み、当番の児童に提示する。

<材料>

- ミニホワイトボード、メニューカード

<工夫点>

- 児童分と教員分では配膳するものが異なるため、配膳する・しないをトレーの色で示した。
- 毎日の献立に対応できるように付け外しができるものにした。

<効果>

- 「スプーンフォークは緑だけ」「ゼリーは緑と黒」と口頭説明だけでは難しかったが、視覚的に提示することで混乱なく配膳できるようになった。

教材教具名	荷物しまい	分類	教科
		授業名	国語・数学 日常生活（高等部）

ねらい

・荷物がすべて収まるように、リュックにしまうことができる。

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・提示された順番で、すべての荷物が収まるようにリュックに入れる収まる入れ方を覚える。

<材料>

- ・リュック、連絡袋、水筒、ビニール巾着袋×2

<工夫点>

- ・連絡袋→水筒→ビニール巾着の順でしまうと、うまくリュックに収まるようになっている。

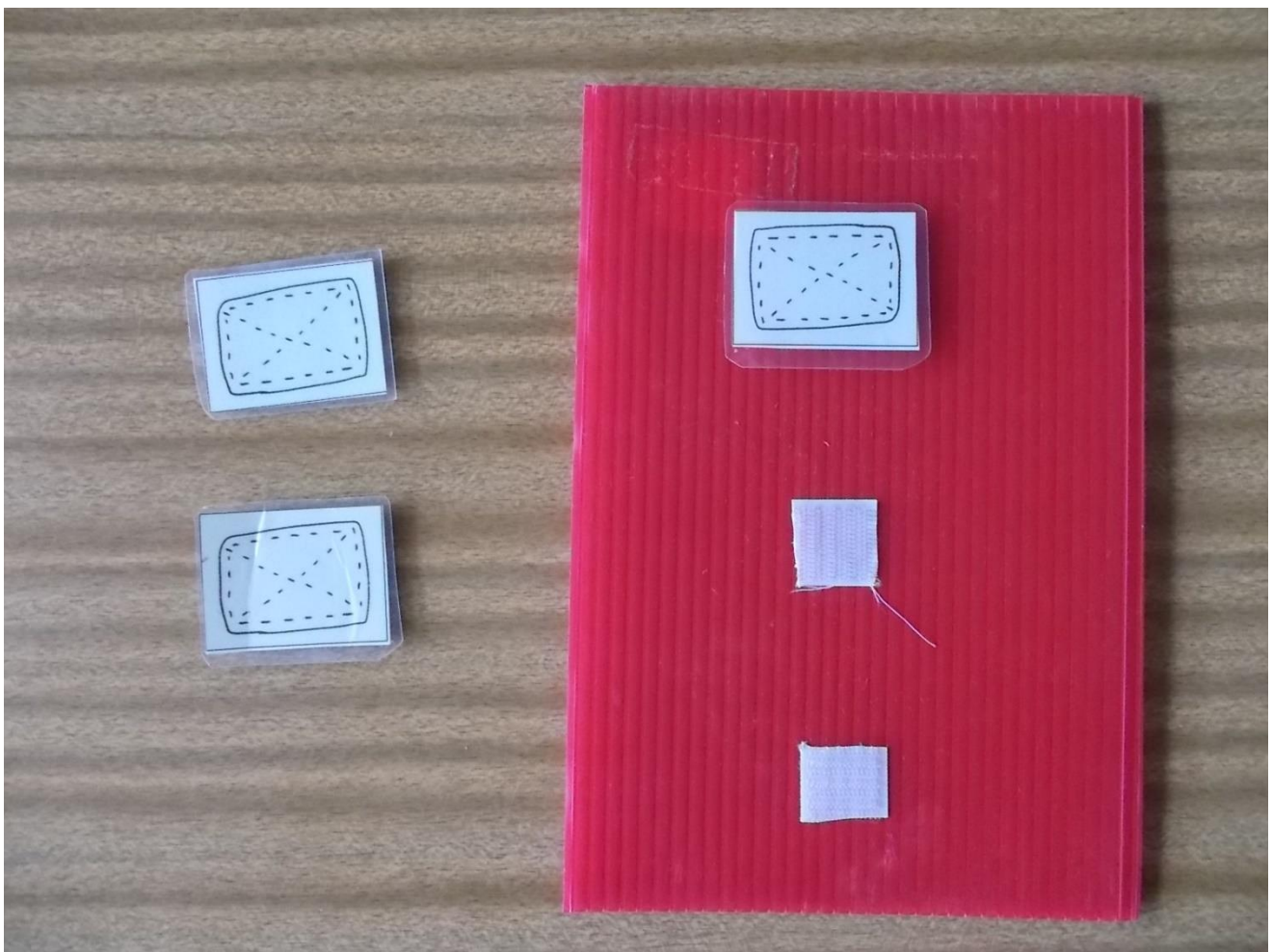
<効果>

- ・提示された順番で、すべての荷物が収まるようにリュックに入れることで、リュックにすべてが収まる入れ方を覚える。



教材教員名	雑巾がけ あと何回？	分類	教科
		授業名	クラス清掃（中学部）
ねらい	・3往復することになっているクラスの雑巾がけに対して、見通しを持たせる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・全員を壁側に椅子で座らせて、2人ずつ順番に雑巾がけを3往復する。1往復毎にカードを1枚渡して貼らせる。3枚貼ったら雑巾を教員に渡して着席する。

<材料>

- ・プラ板、頭巾カード、マジックテープ

<工夫点>

- ・自分でカードを貼っていくことで、視覚的に見通しを持たせようとした。

<効果>

- ・カードを受け取り自分で貼ることと、終わった時の教員の称賛の言葉かけで、活動に見通しとやる気を持たせることができた。

教材教員名	プリンセスウォッチ	分類	教科
		授業名	日常生活（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雑巾がけの回数を自分で数えられるようにする。</li> <li>・自主的に楽しんで雑巾がけに取り組む。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・腕につけてリボン型のビーズをひっくり返して数を数える。

<材料>

- ・100円ショップ腕時計、ビーズ、ゴム紐、マジックテープ

<工夫点>

- ・本人の好きなデザインで、アクセサリ感覚で楽しめるように考えた。
- ・着脱しやすいようにマジックテープをつけた。

<効果>

- ・喜んでつけてくれて、雑巾がけをはりきって行っていた。体力づくりのランニングの周回数を数える時にも使っていた。

教材教具名	とんでったばななくん	分類	教科
		授業名	音楽（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パネルシアターに注目することができる。</li> <li>・曲に合わせて声を出したり歌詞を覚えて歌ったりすることができる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・パネルシアターの導入と、お話の中で使う。
- ・発語や発声を誘う。

<材料>

- ・フェルト（黄色、白、赤、茶色）、糸、裁縫セット、目玉シール

<工夫点>

- ・ばななが飛んでいけるように、ばななの皮から本体を取れるようにした。

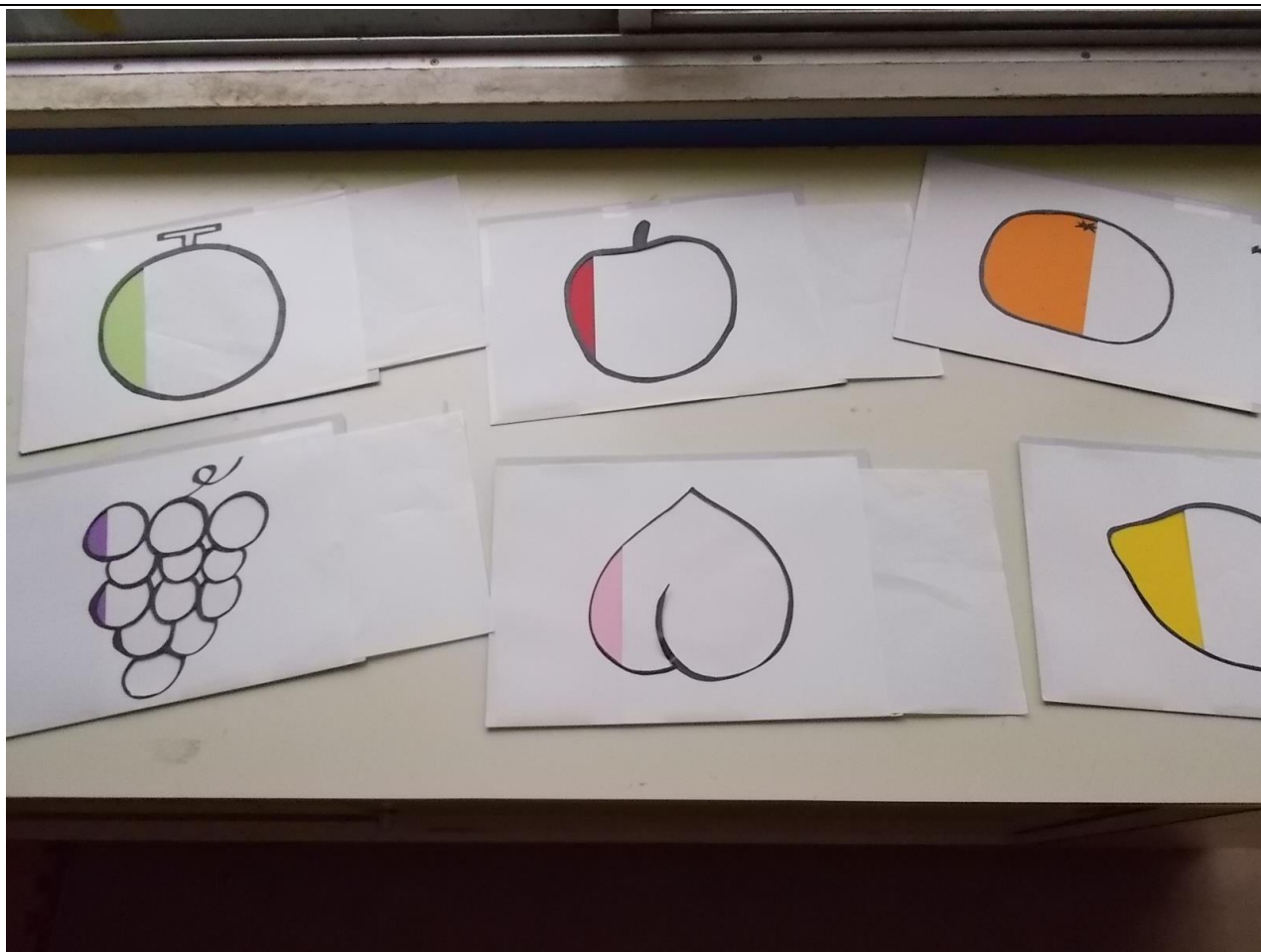
<効果>

- ・立体的にしてお話の中から飛び出るようにすることで、児童の注目度や意欲が増した。



教材教具名	いろいろたペープサート	分類	教科
		授業名	図工 色あそび（導入）（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・果物の色が出てくる様子に注目することができる。</li> <li>・色の名前を言うことができる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・いろいろたを歌ったり曲を流したりしながら白い紙を抜き、果物の色が出てくる様子に注目させるようにする。

<材料>

- ・板目紙・色画用紙

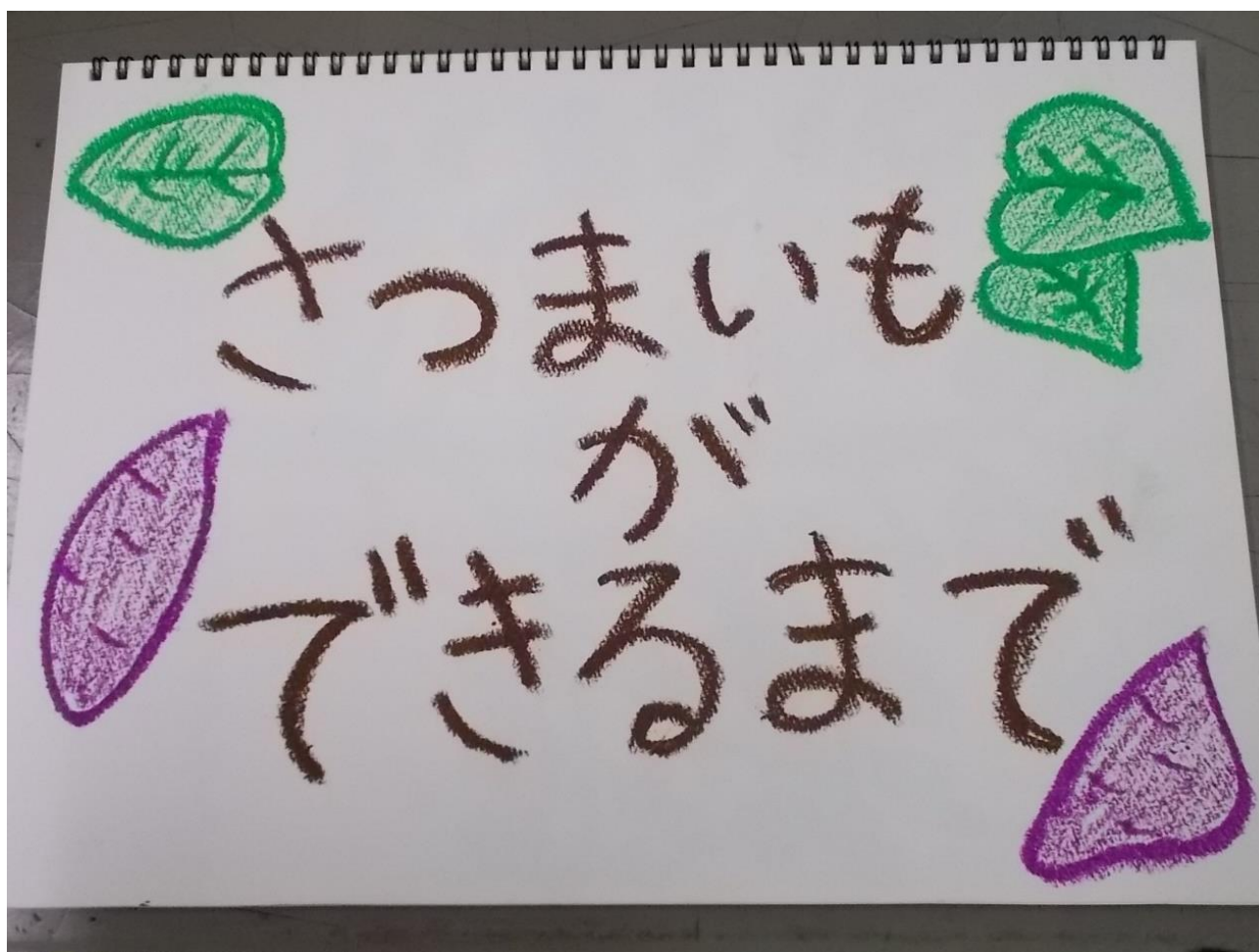
<工夫点>

<効果>

- ・果物の色が出てくる様子に注目していた。
- ・途中で「りんごは…？」と児童の反応を待つと「あか」など、いくつかの色を答えることができた。

教材教員名	やさいのそだてかた ～さつまいも、とまと編～	分類	教科
		授業名	生活（小学部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土の中に植えることが分かる。</li> <li>・土と太陽と水の力で育っていく様子が分かる。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・園芸の授業の導入で使用する。実際の苗も見せながら使うとつながりやすい。
- ・スケッチブックシアターの要領でめくって見せる。

<材料>

- ・スケッチブック、クレヨン

<工夫点>

- ・太陽と水をページを分けてめくることで注目できるようにした。

<効果>

- ・苗の状態だと“何ができるのか”が分かりにくいので、土に植えることで何の作物がなるのか見通しをもつことができる。

教材教員名	ホットケーキを作ろう ～たまご編～	分類	教科
		授業名	生活（小学部）
ねらい	・ホットケーキ作りのごっこ遊びをすることができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

・ひもに手をかけて、たまごを持って引っ張ることでたまごを割る。慣れてきたらひもがないたまごで行う。

※たまごを割る前に机にトントン!とたたいてから割るとよりリアル☆

※実際の授業の流れ

①たまごを割る②牛乳(空牛乳パック+白ひも)③粉(ホットケーキミックス空袋+シュレッダー)④まぜる  
⑤焼く(おもちゃフライパン+絵具入り洗濯のり)⑥鑑賞

<材料>

・スライム入りたまご(セリア)、洗濯ネット、フェルト(黄色)、ホールケーキ型紙、折り紙

<工夫点>

・たまごにひもをつけた。

<効果>

・実際の調理も同じ工程で行ったことで、見通しを持って活動することができた。



教材教具名	どんぐりころころ まつぼっくりころころ	分類	教科
		授業名	生活（小学部）
ねらい	・木の実の転がる様子を楽しみ遊ぶことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・どんぐりや木の实を入れ、転がす。

<材料>

- ・ペットボトル、結束バンド、板

<工夫点>

- ・転がる様子が見えるように筒は透明のもので作った。
- ・たくさんのどんぐりを一気に入れる、一粒ずつ入れるなど入れ方を工夫できるように入れる場所を複数個用意した。

<効果>

- ・転がる木の实が途中で止まったり、筒から外れて落ちたりすることもあったが、児童が工夫して遊んでいた。

教材教員名	マクオナルドで買物	分類	教科
		授業名	国語・数学 生活総合（中学部）
ねらい	・興味関心のある食べ物で買い物学習に意欲を持たせる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・写真カードを見て商品を選び、支払いをしたらマクオナルドの食べ物の模型を商品として渡す。

<材料>

- ・スチレンボード、マクオナルドの商品の空箱や紙、トレー、メニューの写真

<工夫点>

- ・商品の模型をできる限り、リアルにした。

<効果>

- ・学習意欲の向上。

教材教具名	ミトンテニス	分類	教科
		授業名	体育（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールとの距離感や、ラケットの面を意識してボールを打つ。</li> <li>・テニスの事前学習で打つ感覚をつかむ。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・利き手にはめて、スポンジボールを打つ。

<材料>

- ・ジョイントマット2枚、テグス。

<工夫点>

- ・柔らかく軽い素材で屋内でも使用できるように工夫した。

<効果>

- ・ボールとの距離を自分で動いて打てる生徒が増えた。
- ・屋内ゲームを通じてラリーを楽しめるようになってきた。



教材教員名	ターゲットテニス	分類	教科
		授業名	体育（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テニスでボールを勢いよく打つ事を楽しむ。</li> <li>・点数をつける事でねらって打つ意識を持たせる。</li> </ul>		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・エンドライン上に置き、教員の球出しやサーブをレシーブしてネット及び得点版を狙わせる。

<材料>

- ・防球ネット、養生テープ、得点版4枚、鈴4個、ミニフープ1個。

<工夫点>

- ・鈴をつけ、ネットにボールが振れた際に音を出す事で聴覚的にも実感を持たせた事。

<効果>

- ・ネットに届かせようと、ラケットを勢いよく振れる生徒が増えてきた。
- ・点数を出し競う事でテニスの楽しさに触れる機会を増やす事ができた。

教材教具名	雪だるま 鏡餅 手順書	分類	教科
		授業名	美術（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見通しを持って取り組む。</li> <li>・手順を確認しながら一人で制作を進める。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・手順を確認する。

<材料>

- ・新聞紙、排水溝ネット、セロテープ、和紙、のり、フェルト、スパンコール。

<工夫点>

- ・生徒が自分の力で制作に取り組みやすい材料の使用。

<効果>

- ・教員に質問をする前に、自分で手順を確認することができる。

教材教員名	キャップ移しの自助具	分類	教科
		授業名	作業（リサイクル班）
ねらい	・キャップ移し作業の“操作と結果”を明確にし、理解して操作を行う。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・桶にキャップを入れてセットする（教員）。
- ・桶のバーを持って傾け、キャップをバケツに移す。

<材料>

- ・桶、バケツ、木材、プラダン

<工夫点>

- ・桶とバケツのサイズを合わせてぴったりはまるようにした。
- ・バケツの持ち手を斜めに切った木材に固定することで最低限の加工で済むようにした。

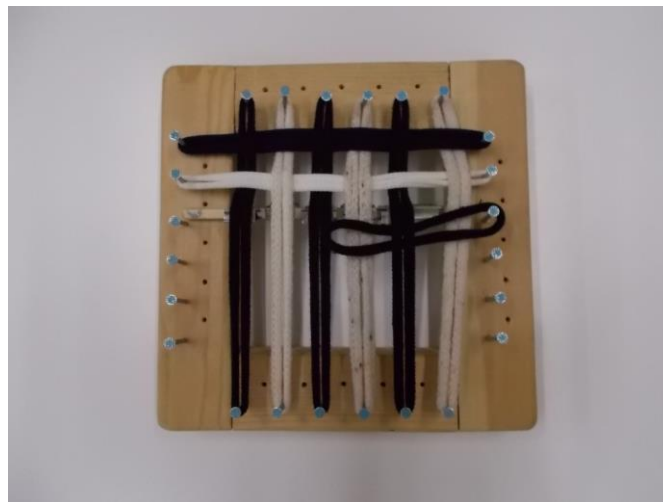
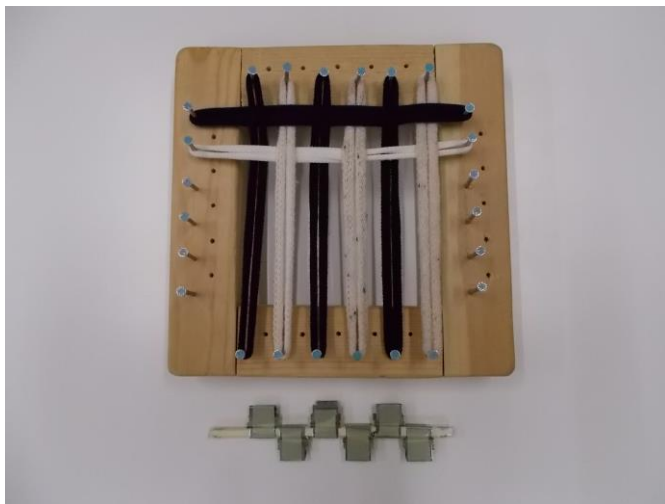
<効果>

- ・全介助でキャップ移しを行っていた生徒が、自分で操作をして作業をすることができるようになった。



教材教具名	靴下コースター用 そうこう	分類	教科
		授業名	校内実習（高等部）
ねらい	・コースターを編むときに、横糸の通し方をわかりやすく示す		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・靴下コースターの枠を載せ、回転させながら使う。

<材料>

- ・割り箸、ガチャ玉、養生テープ

<工夫点>

- ・だれでも簡単に複数を作れる方法を模索した。
- ・端にシールを貼って、向きの変化をわかりやすくした。

<効果>

- ・縦糸の上下はあまり段差がつかなかったが、好きな色の構成で作りたい生徒が、通し方を間違えないように使っていた。

教材教員名	ビニールロケット発射台	分類	教科
		授業名	理科 ビニールロケットをとばそう (中学部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 空気ので、物が動くことがわかる。</li> <li>• 空気のがさが変わると、物が動く様子も変わることにつく。</li> </ul>		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 発射筒にビニールロケットをセットし、反対側にあるひもを引っ張り、手を放す。手でひもを離すことが難しい生徒は、ひっかけを使用する。握りの部分を引っ張ると、ある程度のところで外れるようになっている。

<材料>

- ダンボール、筒、ビニールテープ、ビニール袋、ひも

<工夫点>

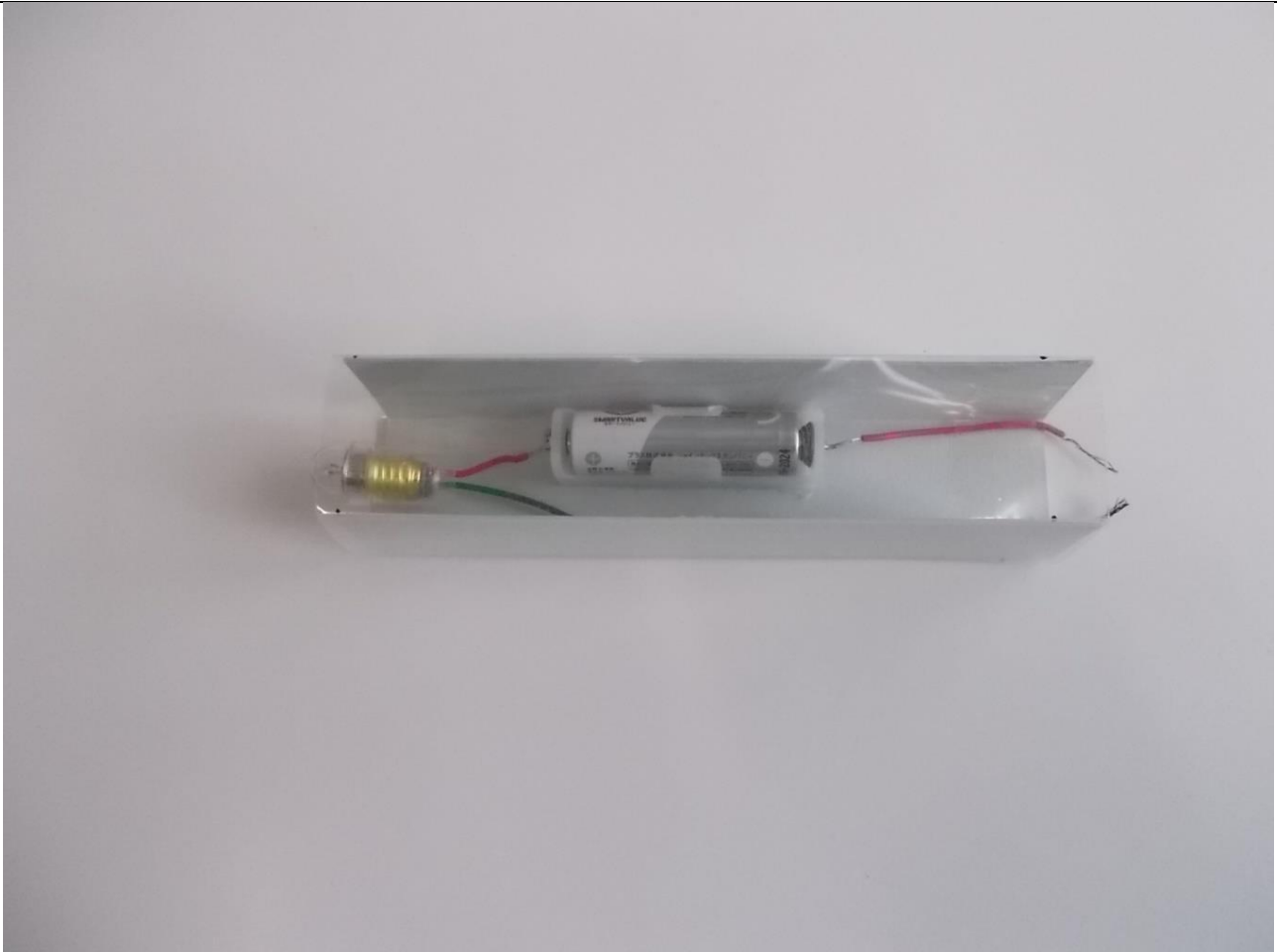
- 手でひもを離せない生徒も、ビニールロケットを飛ばすことができる点。

<効果>

- 参加者全員がビニールロケットを飛ばすことができる。

教材教具名	電気チェッカー	分類	教科
		授業名	理科 電気を通るものを探す (中学部)
ねらい	・電気を通るものを身近な物の中から探すことができる。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・導線の部分に物を置き、電気が通るか調べる。

<材料>

- ・導線、豆電球、電池、電池ボックス、画用紙、ラミネートフィルム

<工夫点>

- ・生徒が力を入れすぎて壊れないように画用紙とラミネートフィルムでカバーした。
- ・中身は見えるようにしたかったため、ラミネートフィルムを使用した。

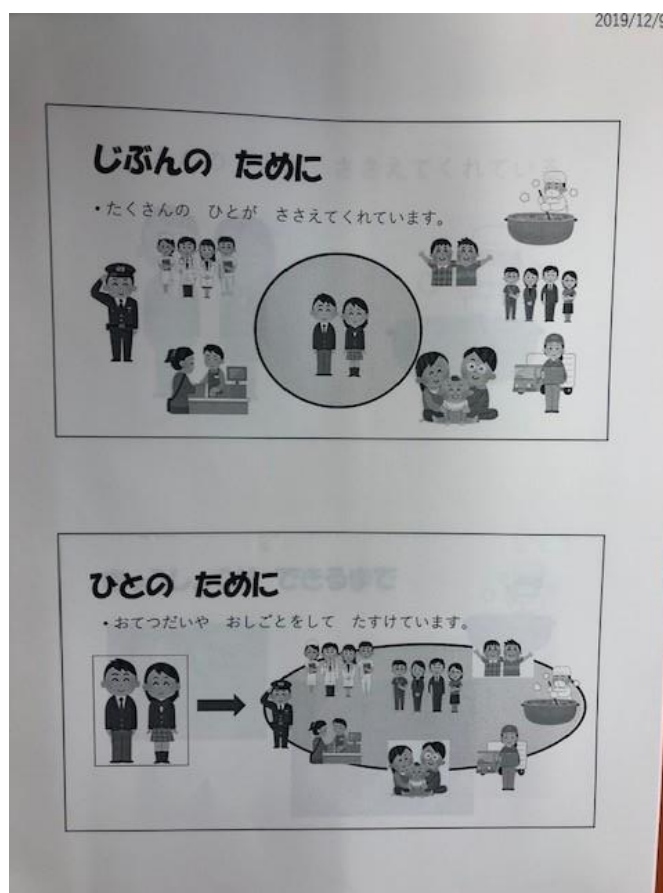
<効果>

- ・生徒がいろいろなものを自発的に置き、物を置いた直後に豆電球を見て、一人で結果を確認することができるようになった。



教材教員名	お仕事・お手伝いについて	分類	教科
		授業名	家庭生活（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 人のお世話になっていること、自分が人のためになっていることをイメージする。</li> <li>• 身近な仕事をしている人の様子を知る。</li> <li>• 仕事・お手伝いをすると報酬があることをイメージする。</li> </ul>		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- テレビに大きく映して、説明しながらスライドショーをする。

<材料>

- フリー画像・調理員さん等の写真

<工夫点>

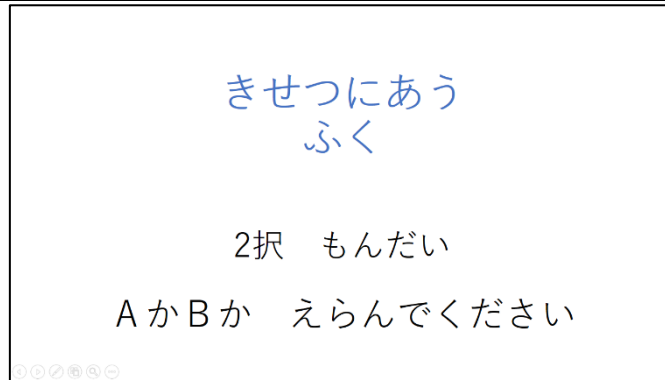
- イラストで自分と他の人の関係をイメージしやすくした。
- 栄養士さんの協力を得て、調理員さん等の仕事の写真を撮っていただいた。
- 具体的なイラストと掃除、報酬の流れを繰り返すことで報酬をイメージできるようにした。



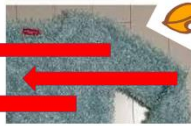

<効果>


- 3回授業で、お手伝いと報酬の流れを繰り返すことで、活動にスムーズにのれるようになった。
- 3回の授業で掃除を繰り返すことで、少ない補助で自在ぼうきやちりとりを使えるようになった。

教材教員名	パワーポイント きせつにあうふく	分類	教科
		授業名	社会生活（高等部）
ねらい	・クイズに答えながら季節に合う服装を学習する。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



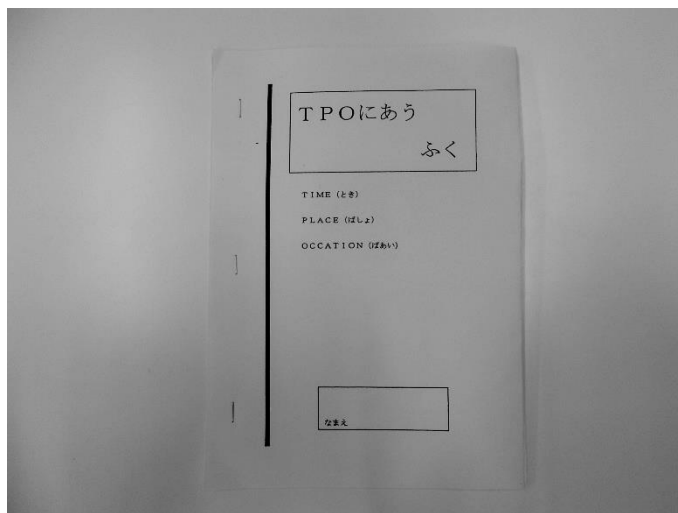
<p>あたたかい ふくはどっち？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p><b>A</b> マフラーあり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><b>B</b> マフラーなし</p> </div> </div>	<p>あたたかい くうきが かぜでとばないように ふたをするのは どっち？</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p><b>A</b> モフモフセーター</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p><b>B</b> ウィンドブレーカー</p> </div> </div>
--	---

<p>ここからは きおんにあうふくを えらびましょう</p>	<p>② 10℃ くもり</p> 
--------------------------------	--

- <使用方法>
- ・各自が A と B の札を持ち、クイズに答える。アニメーション効果でクイズの答えや空気の逃げる方向を出しながら学習する。
  - ・あわせて実物の洋服を選んでコーディネートしたり、温度計のプリントで確認した。
- <材料>
- ・パワーポイント、A と B の札、いろんな季節の洋服、温度計のプリント
- <工夫点>
- ・一人ひとりの生徒が考え、活動できるようにした。
- <効果>
- ・一人ひとりが活動できた。

教材教具名	着せ替えノート	分類	教科
		授業名	社会生活（高等部）
ねらい	・TPOにあった服装を楽しみながら学習する。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・色塗り→とじこみ→はさみカット→ページをめくって組み合わせを確認

<材料>

- ・紙

<工夫点>

- ・塗り絵をして楽しめるように考えた。
- ・最後のページは自分で顔を書いて塗るようにした。

<効果>

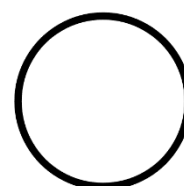
- ・自分で顔を書き込むページを楽しんで塗ってくれる生徒がいた。

教材教員名	パワーポイント 実習のみだしなみクイズ	分類	教科
		授業名	社会生活（高等部）
ねらい	・クイズに答えながら実習にふさわしい服装やみだしなみを学習する。		

教材教具の概要（使用方法・工夫点など）

じっしゅうの  
みだしなみ  
○×クイズ

かおを あらった



ひげが はえている



<使用方法>

- ・各自が○と×の札を持ち、クイズに答える。あわせて同じ内容をプリントで確認した。

<材料>

- ・パワーポイント、○と×の札、クイズの確認のプリント

<工夫点>

- ・一人ひとりが活動できるようにした。


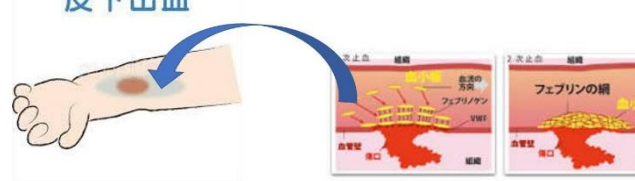


<効果>

- ・一人ひとりが活動できた。



教材教員名	パワーポイント 怪我の手当て	分類	教科
		授業名	社会生活（高等部）
ねらい	・クイズに答えながら怪我の種類や手当てを学習する。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）

<p>①だぼく（うちみ）</p> 	<p>①だぼく のしくみ</p> <p>皮下出血</p> 
<p>クイズ すりきずなのであてでいちばんにするのは？</p> <p>☆ばんそこうやガーゼ ☆みずであらう ☆しょうどく</p> 	<p>クイズ きりきずなのであてでいちばんにするのは？</p> <p>☆ばんそこうやガーゼ ☆みずであらう ☆ちをとめる ☆しょうどく</p> 

<使用方法>

- ・各自が A と B の札を持ち、クイズに答える。アニメーション効果で怪我の症状名やクイズの答えやを出しながら学習する。あわせて実物の消毒液等で教員の腕を手当てして学習した。

<材料>

- ・パワーポイント、A と B の札、保冷剤、シップ、消毒液、ガーゼ、テープ等

<工夫点>


- ・実際に生徒の身に起きている怪我をとりあげた。

<効果>

- ・一人ひとりが活動できた。

教材教員名	パワーポイント 調子が悪い時、伝えよう	分類	教科
		授業名	社会生活（高等部）
ねらい	・不調を伝える表現を学習する。		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）

<p>ちょうしがわるいとき つたえよう</p> 	 
 <p>あたまが いたいです</p> 	 <p>かなしくて げんきがでません</p>

<使用方法>

- ・不調を表す絵を見て考えてから、アニメーション効果で絵にあう言葉を出す。

<材料>

- ・パワーポイント

<工夫点>

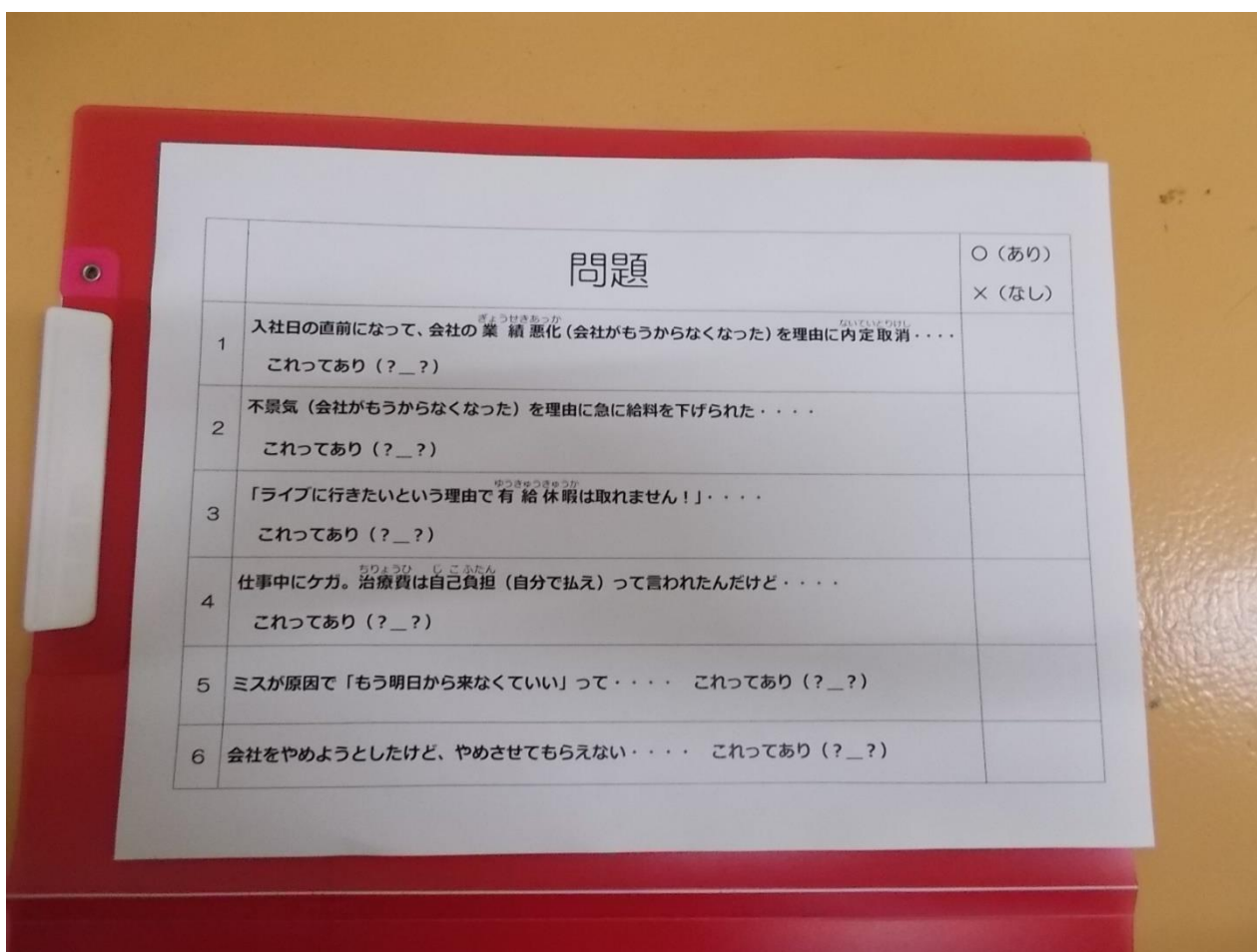
- ・一人ひとりの生徒が考えるようにした。
- ・日常の中で訴えることができなかった怪我をとりあげた。

<効果>

- ・一人ひとりが活動できた。

教材教員名	ワークルール学習 ワークシート	分類	教科
		授業名	生活総合 ワークルールを学ぼう (高等部)
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>卒業後の被雇用者として働く中で、自分の権利を守る、また主張できるようにするため、労働法規の基礎を身に付けさせる。</li> </ul>		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- 授業の中で手持ちのプリントとして使用する。
- クイズ形式なので生徒にとっては取組みやすい。
- 答えが全て、×(なし)なので、特別支援学校の生徒にとって分かりやすい。

<効果>

- 一回だけでは知識の定着は困難だと思われるが、この授業をきっかけに自分が苦しい立場の時に、周りの大人(保護者、出身校の教員、支援機関の職員等)に相談するきっかけになるとよい。

教材教員名	年賀状を書こう	分類	教科
		授業名	生活総合 国語（高等部）
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>年賀状を相手に贈ることを意識する。</li> <li>宛名や新年のあいさつを正しく書く。</li> </ul>		

教材教員の概要（使用方法・工夫点など）



<使用方法>

- ・パワーポイントの資料を見ながら説明を聞き、年賀状の意味と学習の流れを確認する。
- ・見本をもとに漢字で宛名を書く練習を行う。
- ・実際のはがきサイズの紙に漢字で宛名を書く練習を行う。

<材料>

- ・パワーポイント資料、宛名の漢字練習表、実際のはがきサイズの枠

<工夫点>

- ・まず、実際のはがきサイズよりも大きな枠で漢字練習を行ってから、実際のはがきサイズに移行することで漢字の形に慣れてから記入に臨むことができる。
- ・年賀状は贈るものということを意識できるように贈る相手を毎時間確認し、生徒自身がPCをタッチすることで教員の写真が浮かび上がるようにアニメーションを付けた。

<効果>

- ・相手に贈る意識は毎回確認したり、生徒自身がPCに触れる機会を作ったりすることで意識づけられた。
- ・漢字を大きく書いてから実際のサイズに移行したことで枠をはみだすことなく記入ができた。